

約2年ぶりとなる国内クルーズ船「飛鳥II」寄港による地域経済の活性化

— 感染症対策と地域経済の活性化の両立 —

◆ 令和3年11月3日(水)、
コロナ禍後初、約2年ぶり
に国内クルーズ船「飛鳥II」
が茨城港常陸那珂港区に
寄港しました！

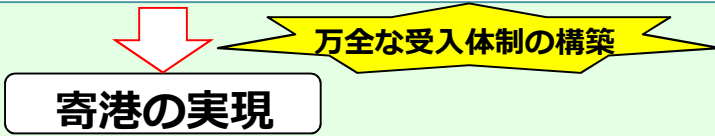
【「飛鳥II」のスペック】

総トン数	50,444トン
全長/全幅	241m/29.6m
乗客定員/客室数	872人/436室



1 感染症対策～受入体制の構築～

- コロナ禍におけるクルーズ船受入について協議するため、**「クルーズ船受入協議会」を設立**
- 船会社に、ガイドラインに沿った**感染症対策の徹底を求めるとともに、その取組について確認**
- 保健福祉部局や地元消防等関係者による**コロナウイルス感染者の発生を想定した搬送訓練を実施**



2 地域経済の活性化～クルーズ船がもたらす経済効果～

寄港後乗船客は県内観光へ



- 県内観光や地元商店街での観光消費が拡大し、**地域の賑わいと経済の活性化に寄与**
- 寄港を通じた本県の魅力向上及び寄港後の来県促進

